

～1ターンで畜産就農 牛も自分ものんびり楽しく～
小田原 洋一さん
(久万高原町(旧柳谷村))

肉用牛繁殖農家 1976年生まれ
久万和牛改良組合組合長など



☆経営概況☆

久万高原町中津地区で黒毛和牛繁殖経営を行っています。現在は、繁殖牛 13 頭、子牛・育成牛 8 頭を飼養しており、子牛は約9か月育てて、県内の家畜市場を通じて肥育農家などへ販売しています。畜産経営の他、水稻栽培も行っています。

☆ここがポイント☆

■1ターン、就農のきっかけ

地元仙台で自動車整備士として働いていましたが、昔から将来は田舎で農業がしたいと思っていました。30歳くらいから本格的に場所を探し始め、ホームページなどで情報収集しながら、いろんな場所を見て回りました。その中で久万高原町を見つけ、**実際に訪問し出会った地元の方が住むところや農地を斡旋してくれて、一気に話が進みました。**しかしその頃、東日本大震災が発生。大きな被害を受けた地元を見て離れていいものか悩みましたが、**一度きりの人生を楽しみたい、**と思い移住を決めました。

畜産を始めたのは、**地域の繁殖農家から「やってみないか」と声をかけてもらったことがきっかけ**です。空いていた牛舎を借りて繁殖牛1頭を譲り受け始めました。全くの素人で何も分からない状態でしたが、**牛飼いの先輩から教えてもらいながら勉強**していきました。近くに、ちょうど同じ時期に就農した後継者がいたことも心強かったです。3年目から繁殖牛を増やし始め、空き倉庫を自分で改築して牛舎も増やしました。

■とにかく牛に心地よく

飼養管理は基本に忠実に、牛がゆっくり反すうできるように床をきれいに保つことを心がけています。**粗飼料は地元の良質なわらを給与**しています。牛をかわいがり、**個体観察もじっくり**行っています。特に子牛は初乳をしっかり飲ませ、下痢がないかなど健康観察に気を配っています。

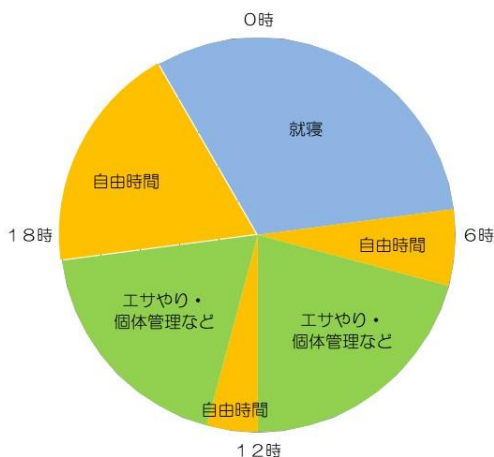


地元のわらなど良質な粗飼料を給与



スキンシップしながら個体観察

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

主な飼養管理作業は、**エサやり、除糞、人工授精、出荷**などです。牛の発情や健康状態の管理のための個体観察も大事な作業です。分娩が夜中になったり、水田作業で忙しい時もありますが、**自分で作業を調整して空いた時間を作ることも可能**です。生きものですから定休は取れませんが、帰省などの際には、近隣の畜産農家 OB にお願いすることもあります。

余暇の時間も大事にしている、夏は夜な夜な仲間たちと面河川へうなぎや鮎取りに出かけます。気づけば朝ということも（笑）

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】						
生きものを飼育しているため、通常、作業は毎日あります。休みは、自分で作業を調整したり、近隣の畜産農家 OB にお願いすることもあります。						
← 飼養管理作業等 →						



夏の夜は仲間たちとうなぎや鮎を取りに川へ出陣！



田んぼの作業は趣味でもあります。稲木干しにこだわっています。

☆これからの夢や目指すもの☆

牛舎を増築し、飼養頭数を増やしたいと思っています。畜産経営は奥が深く、分かり始めてからのほうが難しいです。もっと勉強して、**血統の更新もしたい**ですね。

☆メッセージ☆

まずは飛び込んでみることが大事だと思います。ちょっとしたことでも、動いていればきっかけに繋がります。後から聞いたことですが、私も最初は「すぐ辞めるだろう」と思われていたようですが、続けていると周囲からどんどん声がかかるようになりました。**少しでも動いていれば、周りを見ていてくれますよ。**